

IX 広報

1. 施設一般公開

研究センターでは、2006年2月からビームラインの本格運用が開始されたが、県立施設である当研究センターを地域住民や県民に広く知ってもらうため、また、科学に興味をもってもらうため2007年度から施設公開を実施している。

2008年度は、鳥栖市にある独立行政法人産業技術総合研究センター九州事務所の施設公開と合わせ、2008年9月27日(土)に開催し、鳥栖市の協力により両施設をシャトルバスで結び来場者の利便を図った。

【施設公開内容】

- エックス線による微細加工
- ブラックライトで見てみよう
- シンクロトロン光の発生
- 電子線の不思議
- 電磁石で遊ぼう
- 手作り分光器・望遠鏡(体験教室)
- クイズラリーほか

表3 施設公開入場者数 (単位:人)

	2008年度
施設公開入場者	243

3. 施設広報

2008年度に参加し、ポスター発表等を行った展示会等は次のとおりである。

(国内)

- ナノテクノロジー放射光利用研究の最前線2007 (2008.5.7、独立行政法人 日本原子力研究開発機構、独立行政法人 物質・材料研究機構、学校法人立命館 立命館大学、財団法人 高輝

度光科学研究センター)

- 第5回 加速器学会年会・第33回 リニアック技術研究会 (2008.8.6-8、日本加速器学会・リニアック技術研究会)
- 第21回国際結晶学連合会議 (IUCr2008) (2008.8.23-31、IUCr (国際結晶学連合)、日本結晶学会、日本学術会議)
- VACUUM2008 第30回日本真空展 (2008.9.10-12、日本真空工業会、日本真空協会)
- 蛋白質と酸素の構造と機能に関する九州シンポジウム (2008.9.11-13)
- 国際フロンティア産業メッセ2008 (2008.10.8-9、国際フロンティア産業メッセ2008実行委員会)
- 第22回日本放射光学会・放射光科学シンポジウム (2009.1.10-12、日本放射光学会)
- 日本物理学会64回年次大会 (2009.3.27-30、第64回年次大会実行委員会)
- The 1st International Workshop on Theoretical Calculation of ELNES and XANES (TEX2008) (2008.7.2-4) (海外等)
- 6th International Conference on Synchrotron Radiation in Materials Science (2008.7.20-23、LNLS)

また、専門の研究者から一般市民まで、広範な分野からの見学者を受け入れ、研究センターの紹介を行った。なお、2008年度の見学者数は、1,140人であった。